

15の春の自立を地域とともに目指す活力のある学校

(学校教育目標)

未来を拓き たくましく生きる力の育成 ～ 自律 協働 挑戦 ～

(校長雑感)

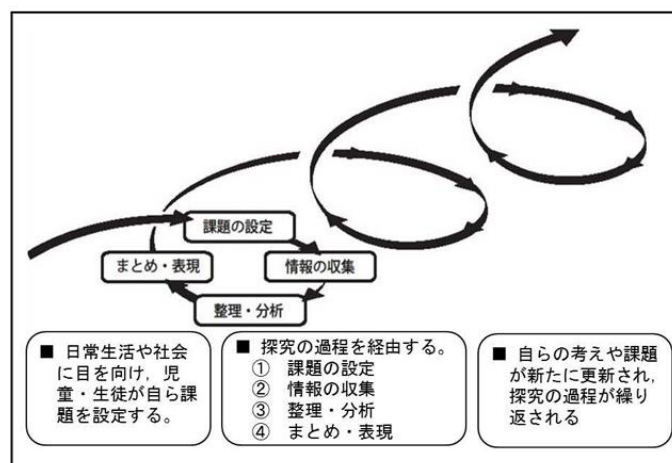
現在、中央教育審議会では、今後の学校の在り方(学習指導要領など)について、さまざまな角度から議論が進められています。(このことについては、今後別の機会に取り上げます。)私は今から9年前、前回の学習指導要領の改訂に際し、2年間東京に滞在し、その議論を間近で聞きながら学び、研究する機会を得ました。その当時の議論の大きな土台には、次のような考え方がありました。(「(平成26年中央教育審議会答申『次期学習指導要領等に向けたこれからの教育の在り方について(審議まとめ)』より)」引用)

- ・情報化やグローバル化といった社会的変化が、人間の予測を超えて加速度的に進展するようになってきている。
- ・子供たちは、自ら課題を見だし、多様な他者と協働しながら解決に向かう過程を通して、よりよい社会や生活を創り出す力を育んでいくことが求められる。
- ・学校教育においては、こうした力をさらに伸ばし、知識を活用して課題を解決し、新しい価値を創造することができるようにしていくことが求められる。

単純な知識であれば、インターネットやAIを活用して容易に調べることができる時代です。したがって、単なる知識の伝達(穴埋め)のみを目的とした授業から、個人で考えをまとめたり、クラスメートと協働して意見を整理したり、まとめた内容を他者に伝えるよう工夫して発表したりする授業へと、教育の姿が変化してきています。

教科の授業にとどまらず、総合的な学習の時間「あわくらみらい学」においても、右の図のように探究的な学びを進めています。

自分と100%同じ考えの人はいません。どこかしら異なる考えをもつ他者と協働し、互いに納得できる解を見いだす——まさに「言うは易く行うは難し」です。



しかし、このような経験こそが、将来の生活を充実させ、社会に貢献できる「生きる力」につながると信じ、日々の教育活動を全校で一丸となって進めています。

今年度より右ページの「学校の様子」はHPで代替しています。9月は、14件の記事がHPに上がっています。HPも是非ご覧ください。(職員室、校長室前の掲示板にも掲示しています。)

西栗倉中学校 🔍 (学校の様子)

<https://www.vill.nishiawakura.okayama.jp/wp/nishiawakurachugakko/>